

府本PRIDE No.9

発行 荒尾市立府本小学校

荒尾市樺 2313 番地 2

Tel 0968(68)0004 fax (68)0802



令和8年2月6日（金）

令和8年も早いもので2月になりました。1月は行く、2月は逃げる、3月は去るという例のよう、今後時間が経つのも早く感じていくのでしょうか。

さて、今年度の登校日数は残すところ29日となりました。子ども達は今の時間を大切に過ごしています。特に6年生はこれまでの時間思い出しながら、慈しむように生活をしています。

4日は二十四節季の1つ「立春」でした。暦の上では春ということになります。この時期は心に変化のある季節でもあります。気温が少しずつ上がり、すると心の状態も軽くなり、体も動かしやすくなります。心や体の変化に伴って、トラブルも起き易くなるというのがこの季節の特徴です。とはいっても、進級進学まとめの時期であり、進級進学を控え、学习、生活の両面において大事な時期でもあります。

進級進学後のスタートダッシュをきめるためにも自分の言動をしっかりとコントロールし、意義な時間を過ごしてほしいものです。

春」といふことで、慈しむように生活をしています。この時期は心に変化のある季節でもあります。気温が少しずつ上がり、すると心の状態も軽くなり、体も動かしやすくなります。心や体の変化に伴って、トラブルも起き易くなるというのがこの季節の特徴です。とはいっても、進級進学まとめの時期であり、進級進学を控え、学习、生活の両面において大事な時期でもあります。

これまでの時間思い出しながら、慈しむように生活をしています。この時期は心に変化のある季節でもあります。気温が少しずつ上がり、すると心の状態も軽くなり、体も動かしやすくなります。心や体の変化に伴って、トラブルも起き易くなるというのがこの季節の特徴です。とはいっても、進級進学まとめの時期であり、進級進学を控え、学习、生活の両面において大事な時期でもあります。

令和8年も早いもので2月になりました。1月は行く、2月は逃げる、3月は去るという例のよう、今後時間が経つのも早く感じていくのでしょうか。

さて、今年度の登校日数は残すところ29日となりました。子ども達は今の時間を大切に過ごしています。特に6年生はこれまでの時間思い出しながら、慈しむように生活をしています。

4日は二十四節季の1つ「立春」でした。暦の上では春といふことで、慈しむように生活をしています。この時期は心に変化のある季節でもあります。気温が少しずつ上がり、すると心の状態も軽くなり、体も動かしやすくなります。心や体の変化に伴って、トラブルも起き易くなるというのがこの季節の特徴です。とはいっても、進級進学まとめの時期であり、進級進学を控え、学习、生活の両面において大事な時期でもあります。

徒然

歯科受診率について

小学生の頃、歯医者さんにはあまり良い思い出が無い筆者ですが、最近の歯医者さんはすっかり様変わりしているようですね。

以前は「小児歯科」「審美歯科」等の言葉は聞いたことがありませんでした。最近は

幼児であっても予防的に歯科受診をする家庭も多いようですね。口腔内を衛生的に保つために歯科受診したり、歯そのものを美しく保つために積極的に歯科受診したりす

る方も多いとか…。歯は一生ものという言葉を聞いたことがあります。自分の歯で美味しいものをしっかりと噛んで食べること

は、健康寿命が長いということを意味しているのです。

さて、保護者の皆様は「存知でしょうか。実は荒尾市在住の小学生は歯科受診料が無料なんです。これを利用しない手はありません。府本小学校の歯科要受診児童の受診率の推移をみると…

7月・・・35・7%

12月・・64・3%

1月・・・78・6%

順調に受診率が上がってきてます。荒尾市内の中でも高い受診率です。ですが、やはり100%を目指したいというのが本当のところです。府本小学校区は歯科受診には少々不便ではありますが、子どもたちの未来を守るためにも、予防的な受診も含め、積極的な歯科受診を是非ともよろしくお願ひ致します。

性に関する学習について

府本小学校は人権教育と特別支援教育を基盤とした子どもたちが安心して過ごすことのできる学校を目指して日々活動しています。2月は「性に関する学習」に取り組みます。

この学習は子どもたちが「性に関する課題」に直面した時、子どもたちが自ら判断し意思決定の能力を身に付け、望ましい行動がとれるようにしていくことを目的としています。以

前の性教育は知識やスキル的な側面に偏りがちで、課題に直面した時に役に立たないこともあります。常に議論的になつていました。

最近、全国的なニュースで度々問題になつているのが「性暴力被害」です。この問題の原因は、自分の命の安全を確保できないことがあります。社会の中には、命の安全を確保するための境界線が幾つも存在します。ノックをしたり、声を掛けたりして境界線を越えるものです。最も解りやすいのはトイレでしょうか。実は、心や体にも境界線があり、それを同意なく越えてくるのが「性暴力」なのです。子どもへの性暴力は顕在化しにくく、子ども自身もどう対応して良いのか分からぬという現実があります。大人は子どもたちを叱咤激励するために良かれと思つてスキンシップをとるときがあります。しかし、それを嫌がる子どもたちもいるのです。

私達大人は子どもたちへの性暴力を無くしていくために、そして一人でも嫌な思いをする子がいなくなるよう、「未然防止教育」を実施していかなければなりません。子どもたちへのという話をしましたが、この問題は大人にも必要な教育です。命の安全を守るために境界線（物理的、心理的、社会的）を学び、境界線を越えるためには同意が必要であること、そして、被害に遭つた時にはどのような行動をとるべきなのか、正しく知ることが大切です。

このような包括的な命の学習である「性に関する学習」を府本小学校で行ってまいります。

強歩会へのお誘い

先日、PTA会長から「親子でチャレンジ強歩会」のご案内のプリントが出来ましたね。筆者も参加させて頂く予定で、1日一万歩のウォーキングを目標にして体力づくりに励んでいます。

筆者のこれまでの経験則から、この行事に挑戦し完歩することは、お金では買えない掛け替えのない宝物を手に入れることができる貴重な体験となります。子どもたちにそのような体験をさせるために、参加される保護者の皆様と手を携えて連携、支援していきたいものです。

参加希望者は児童18名、保護者14名、職員4名、サポート（強歩経験者）8名、合計46名です。

先日、ある保護者の方からご質問を受けました。「子どもだけで参加させても大丈夫ですか？」もちろん大丈夫です。配付されたプリントにも書いてあつたと思うのですが、強歩経験者が歩き方や休憩のとり方などをアドバイスしながら、歩き通せるようになるといたしますので、参加を迷つていらっしゃる方があれば、まだ時間はありますのでお申込みされてください。

2月20日（金）に、参加保護者打ち合わせを行いますので、疑問や不安に思うことにもお答えできると思います。どうぞ奮ってご参加ください。

校内近影

